

高齢者の家庭内事故に注意!



高齢者は家庭内で思わぬ事故にあう可能性があります。本人だけでなく、家族など周りの人も事故防止について配慮しましょう。

◆転落や転倒による骨折や外傷等の事故が多く発生しています。高いところからの転落だけでなく、わずかな段差での転倒も多く見られます。

【事故を防止するためには】

- ①家庭内での段差をなくしましょう。
- ②床や階段などに、雑誌やタオル、電化製品のコードなど、つまづきやすい物を置かないようにしましょう。
- ③階段、玄関、廊下などには明るい照明や足元灯をつけましょう。

◆お風呂でおぼれる溺水事故、食べた物が詰まるなどの誤飲窒息は、重症化しやすい傾向がありますので注意しましょう。

【事故を防止するためには】

- ①長湯・高温浴、食事直後や飲酒後の入浴、深夜の入浴は避けましょう。
- ②食事は小さく切って、よく噛みましょう。
- ③お茶などの水分を取りながら食事しましょう。

参考:救急搬送データから見る高齢者の事故(東京消防庁):くらしの危険No.285(国民生活センター)

チーフの わん!ポイントアドバイス

本人だけでなく、家族など、周りの人も気を配ってあげると
良いワン!

